

第132号

活躍した部活動



卓球部 女子



アーチェリー部



演劇部

陸上部
西村 颯恵(2年)将棋部
村上 祥代(1年)将棋部
箕 大樹(1年)美術部
谷口 美郷(2年)

2012年 秋季高校総体・高文祭の結果

剣道部

男子団体 1回戦 虎 姫 0-1 (3分) 2愛知
女子団体 1回戦 虎 姫 1-4 米原

野球部

1回戦 虎 姫 1-5 彦根総合

水泳部

清水善澄 200m平泳ぎ11位
100m平泳ぎ11位

アーチェリー部

男子団体 池 田 1016点
中 井 1033点
中 田 1079点
合 計 3128点 第2位

卓球部

男子団体 3回戦 虎 姫 0-3 近江兄弟社
女子団体 準々決勝 虎 姫 2-3 彦根東

ベスト8 近畿大会出場決定

女子ダブルス 準々決勝

山本清香・小谷優希組(虎姫) 0:3 (米原)

山本・小谷組 ベスト8 近畿大会出場決定

近畿大会は12月26日・27日に東大阪アリーナ(東大阪市)で開催

ソフトテニス部男子

団体戦 1回戦 虎 姫 2-1 立命館守山
2回戦 虎 姫 2-1 膳所
3回戦 虎 姫 0-2 甲西 ベスト8

ソフトテニス部女子

団体戦 1回戦 虎 姫 2-1 玉川
2回戦 虎 姫 1-2 八日市

バスケットボール部男子

1回戦 虎 姫 74-61 河瀬
2回戦 虎 姫 87-29 近江兄弟社
3回戦 虎 姫 61-89 石山

バスケットボール部女子

2回戦 虎 姫 71-44 甲南
3回戦 虎 姫 56-76 長浜北星



バレーボール部男子

予選グループ戦 虎 姫 2-1 伊香
決勝トーナメント 1回戦 虎 姫 2-0 玉川
2回戦 虎 姫 0-2 近江

バレーボール部女子

予選グループ戦 虎 姫 0-2 守山北
敗者戦 虎 姫 2-0 日野
決勝トーナメント 2回戦 虎 姫 2-0 彦根東
3回戦 虎 姫 0-2 近江兄弟社

アメリカン・フットボール部

準決勝 虎 姫 12-20 立命館守山

サッカー部

1回戦 虎 姫 1-7 水口

バドミントン部

男子 団体戦 1回戦 虎 姫 2-3 壁田
女子 団体戦 1回戦 虎 姫 0-3 大津

陸上部

西村颯市 100m決勝1位
200m決勝1位
三谷寛平 800m決勝7位
健彦彩香 100m決勝6位

美術部

谷口美郷 近畿高校文化祭に出展

演劇部

大橋悠作『なにかがなる』 上演 最優秀 近畿大会出場 優秀賞

プラスバンド部

発表曲 「のだめカンタービレコレクション」 ・編曲: 小島 聖美
〜プラスフットオンクラシック〜 ・指揮: 堀 浩治

囲碁将棋部

◇男子新人戦 予選リーグ戦 2勝1敗 決勝トーナメントへ
1回戦 O 虎 姫 - X (湖南農)
2回戦 O 虎 姫 - X (彦根東)
準決勝 O 虎 姫 - X (玉川)
決 勝 O 虎 姫 - X (滋賀農) 優勝
◇女子新人戦 決勝リーグ戦 3勝0敗にて、村上(虎姫)が優勝
村上(虎姫)は平成25年1月31日より福知山で開催される全国高文連将棋新人大会に出場する。



虎高のマスコットキャラクター、トラマンダースです。





ようこそ先輩

一
年

8月29日(水)に、1年生を対象にパネルディスカッション「ようこそ先輩」が開かれました。様々な分野で活躍なさっている先輩を招き、「仕事ややりがい」「自分の生きかた」などをテーマに語り合っていました。

■コーディネーター

押 谷 喜美子 PTA会長

■パネラー

田 辺 祥 子 氏

虎炬高校45回

神戸大学 内海地域環境研究センター 助教

居 川 信 彦 氏 虎炬高校45回

有限会社 葉匠緑兵衛 代表取締役

辻 良 史 氏 虎炬高校48回

三菱重工業株式会社 原動機事業本部 ガスタービン技術部



以下、生徒の感想

■「今、目の前にある選択で迷うのではなく、もっと先の『こうありたい自分、目指したい自分』像をはっきりさせることを、まず重視すべき」という考え方が、とても自分にとって参考になりました。逆算をして行くことによって、では今の自分はどうかではいけないのかというのが、的確にわかってくるのだと思いました。

■進路の選択は、結局は自分で決めることで他の人に決めてもらうことじゃない。その決定の時に直感や興味が大切であり、どのような将来であっても、そこで精一杯取り組むことでやりがいを見つけれられる。



電話で依頼しています

2学期はサイエンスフィールドワークを行いました。



訪問先で

SSH「究理I」報告



訪問先でそろって

11月16日(金)に、班(3~5人)ごとのテーマに沿って、県内の研究機関や関連施設を中心に訪問しました。訪問先ではテーマに関するインタビューを行うなど、自分たちの疑問について調査をしました。訪問を終えて、「訪問先の方が様々な準備をして、受け入れて下さったことへの感謝」「自分たちで準備することへの不安と、できた事への達成感」「準備をする中で次々とアイデアが生まれたことへの驚き」「訪問先で、考えていた以上に興味ある話が聞けたうれしさ」などを感じて帰ってきました。本校の目指す「3つの力と2つの態度」が、確実に育っているようです。

今回のフィールドワークは9月から班の決定とテーマの検討、10月は訪問先の決定と依頼状の送付および行動計画書の作成、11月にはインタビュー内容の検討と直前の準備などを行いました。準備に時間をかけたことで、「ぼんやりした自分の興味や関心などがハッキリした」ように思います。また、「標を正して人と話をしたり、手紙を書く」など緊張する場面も体験できました。

■生徒の感想

★自分たちの訪問に関して、大変な時間と手間をかけて準備をして下さいのおかげで、このご厚意を無駄にしないように、3学期のまとめを積極的に頑張ろうと思う。

★手紙や計画書の作成は少々面倒であったが、調べていくうちに本当に知りたいことがたくさん出てきました。当日は緊張したけど、親切で細かなことまで答えて下さいました。

★訪問先に自分たちでアポイントをとったのが、良い経験でした。当日は質問がすぐになくなり大変だったが、担当の方の話された内容から新たな疑問を持ち、質問できたことが良かった。

2年 北海道 修学旅行

平成24年9月1日(土)~9月4日(火) 3泊4日

- 1日目：白老ポロトコタン ルスツ泊
- 2日目：選択別自然体験学習 クラス別活動 札幌泊
- 3日目：送別終日行動 札幌泊
- 4日目：羊ヶ丘展望台 帰途



金沢大学

平成24年8月21日～22日 1泊2日

参加 2年生71名(男子23名、女子48名)

6学類8講座(1講座90分×3時間)



集合写真を撮らせてくれた引率の先生の写真をお借りしました。

■生徒の感想

■90分という講義時間は、聴いているだけでと集中するのが大変だった。

■買った観点でものを考えたり、グループワークやケーススタディは先生方や学生の方の指導のおかげで非常に興味深いものとなりました。グループワークや発表のようなものは高校までにも少しは経験がありましたが、はるかに主体的に取り組み、意見を述べることもできたので良い経験になりました。時間が経つのを忘れるほどだった。

■学食や図書館を始めキャンパスの広さに驚き、夏休み中にもかかわらず多くの方が研究を続けておられることに驚いた。



虎高OB、OGとの交流会



法学系の授業風景

サマーセミナー (高大連携講座)



高尾山でコウモリやフクロウを観望する

大阪大学大学院

平成24年8月6日・7日 1泊2日 物理分野

参加人数：21名(3年7名、2年14名)



■生徒の感想

■「実験結果が参考データと違っていても、自分の実験結果に自信を持つほうがよい」と言われた。理由は「データの違いに新たな発見があるから」だそうだ。この考えは日々の生活にも利用できると思った。なぜなら、何事も失敗を恐れず積極的に行動さえすれば、何かが必要になるからだ。

■大学の先生はすごく丁寧に説明してくださり、本校OBの人も私たちでは思いつかないような観点からのアプローチを教えて下さり、すごく充実した実験だった。



滋賀医科大学

平成24年8月21日・22日

2日間

参加38名

医学コース：12名

看護学コース：26名



■とても楽しかったです。「ただ〇〇という病気になったというだけでなく、どんな原因があって、どういう理由で判断するか」ということが分かり、医療に興味をもちました。また実験では様々な値がでる器具をたくさん使わせていただき、より正確な実験ができたので良かったです。この軽やかな実験で病気が判断できることにもおどろきました。早く大学に行きたくくなりました。

■インフルエンザや人間の遺伝など様々なところで先入観を持っていたり、簡単に考えていたりするところが あったが、今日の講義で新しい知識を学べてよかった。将来看護の仕事希望しているので、良い勉強となった。多くの分野の講義を聴いてさらに興味が沸いた。

滋賀県立大学

平成24年8月23日・24日 2日間

物理分野(工学部機械システム工学科)

化学分野(工学部材料科学科)

生物分野(環境科学部生物資源管理学科)

参加：25名

参加：17名

参加：30名



■生徒の感想

■自分の進路を明確にたてられていなかったのが、今日のこの講義で自分の視野が広がったので、良かった。実験勉強をしっかりとしようと思った！(物理)

■「みんなが行くから自分も行こう」と最初考えていましたが、大学に来て専門的な知識に触れていくうちに「来てよかった」と思い、最初の原因が失礼に思えるくらい、とても充実した二日間でした。(物理)

■材料科学というものにふれてみて、材料について今までとは全く考え方が変わりました。全ての基礎となるものなので、これからも研究を続けてほしいです。自分も参加してみたいと思いました。(化学)

■DNAのことに限っては、今生物で習っているもので、とても興味はわく内容でした。DNAの取り出し方が今まで分からなかったのが、ふわふわ少し白く透明なものが出てくる結果に驚きました。(生物)

サマーセミナー発表会

平成24年9月27日



1・2年全員を対象として実施。サマーセミナーで得た成果を、参加生徒がプレゼンテーションしました。

コアSSH(2012) 研究グループからの報告

今年は「水温による野菜の鮮度変化」をテーマに研究中です。



滋賀医大での実験研修のようす



中間発表会でのようす



グループ4人(全員2年)
(前田 樹、清水まなみ、清水謙也、影山文祥)

私たちは「水温による野菜の鮮度変化」について研究しています。「50℃洗い」という現象について検証しています。この研究により「食習慣の改善・心の満たされた食事」ができることを願っています。

11月17日(土)に滋賀高校で中間発表を行いました。今後は、来年2月の最終発表会、3月には英語によるポスターセッションをするイギリス研修の準備をします。イギリス研修以外に、食事・服装・建築物など英国人の暮らしぶりも見たいと思います。

クリエイティブの部

優勝賞 優秀賞 佳作賞

1年	音楽フェスタ	1-1	1-4
2年	クラス企画	2-2	2-5
3年	ステージ発表	3-4	3-3



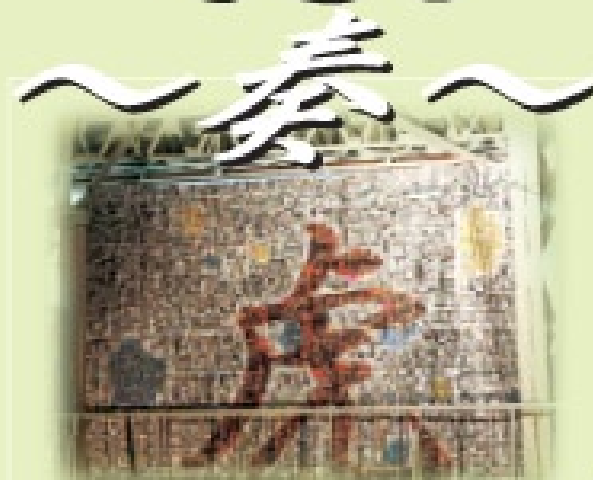
PTAフランクフルト販売

7/11(水)・12(木)
クリエイティブの部



7/13(金)
スポーツの部

祭



モザイクアート



生徒会執行部



PTAジュース販売



総合の部 応援合戦の部 クラス対抗リレーの部

1位	3-3	3-5	2-1
2位	2-3	3-3	3-4
3位	3-1	3-1	1-5

スポーツの部



夜回り先生からのメッセージ

『さらば哀しみの青春』(教育講演会 PTA・学校 共同企画)

7月18日(水)、夜回り先生で知られる水谷修先生をお招きして、教育講演会が開かれた。先生は、夜の繁華街の巡回などの経験を基に、夜の世界の怖さや醜さをお話し下さり、「多くの人に守られてきた命の糸を絶やさなさい」と話された。生徒、保護者、職員など、730人が、講演に耳を傾けた。以下、生徒の感想。

■私が今まで経験したことのない、信じられないような世界の話で、驚いたし、自分と同じくらいの年齢の人の話ばかりだったので、ショックでした。自分の生活や考え方をもう一度考え直さなければならぬと思いました。水谷先生がおっしゃっていたように、昼の世界でしっかりと自分の幸せをつかみたいと思いました。

■今自分たちは、生かされているのだと思いました。祖先の人たちがつなげてきた命が自分なのだと分かりました。自分自身も誰かのために

に生き、これからの未来をつなげていきたいと思いました。

■先生の話の内容がとても感動的に伝わりました。ナオコさんの話

の時には涙が出ました。すごく感動して心の中に響いてきました。生きているってすごいことなんだと改めて感じました。

■自分の命の大切さやありがたさなど、普段当たり前だと思っていたことを、改めて考えさせられました。自分の命は先祖代々大切に守られて、今私はこうやって生きているということがすごいと感じました。自分もこの命を次に回せるように、今を生きていきたいと思いました。

■人の命の重み。美しい物を見ることの大切さ。先生の話聞いていたら、自分の悩みがすごく小さなものに思えてきた。人は言葉では変えられない。行動でしか変えられない。実行したいと思った。自分に置き換えられることがたくさんあると思った。生き方を考えさせられた。

■今回の話を聞いて、薬や交際の危険を思い知らされた。人の本当の生き方を学べた。私も水谷先生とまでは行かなくても、悩んでいる人困っている人がいれば少しでも協力し、いい方向に導いていけるような人になりたいと思っだし、将来の夢が小学校教諭だから、子どものために全力を尽くしていられるような、そんな素晴らしい先生になりたい。

■講演が終わって、何か明るくなって、身体が軽く感じる。これからさまざまなことに頑張れる気持ちがする。



水谷 修 先生



SSH講演会 ～ 最先端科学分野から学ぶ ～

10月18日(木)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所から阪本成一教授を講師に招いてSSH講演会を、全校生徒を対象に開催しました。「宇宙への挑戦」という講演の中で、「自分で考えること」「キラリと輝く個性を持つこと」「失敗を恐れず挑戦すること」の大切さを強調されました。

SSH講演会では、他者の話を「主体的に聴く」態度を育むことを目的にしています。そのため、「疑問を感じながら講演内容を聞く」「講演内容の記録や質問事項の書き出しを行う」「疑問を質問する」の3つのことを大切にしています。

講演会後の質疑応答は大変盛り上がりました。生徒から多くの質問がなされ、阪本教授は丁寧に分かりやすく答えて下さいました。



阪本成一教授



【生徒の感想】

■人類が宇宙に行く理由は何なのかと考えた時、一つ言えることは「外に出てようやく内が分かる」と言うことです。井の中の蛙でなく広い視野で考えることが大切だと思いました。

■「挑戦しなければ失敗はしないかも知れないが、成功もしない」という言葉が印象に残った。

■受験生である私の勉強に対する姿勢も、この講演によってあらためて再確認することができた。この姿勢で、受験勉強を頑張っていきたい。

※ SSHとは、スーパーサイエンスハイスクールの略です。

第62回

全国高校PTA連合会大会に参加して

PTA研修委員長 藤森泰志

和を持って響き合え！

～ つれもて広げる 共育の輪 ～

さる八月二十三日、二十四日の二日間、まだ日本中を沸かせたロンドンオリンピックの熱気もさめやまず、甲子園では球児たちの熱戦が繰り広げられる中、和歌山で開催された第六十二回全国高校PTA連合会大会に、押谷会長をはじめ六名が参加していただきました。メイン会場となった和歌山の屋内体育施設「ビックホール」ほか各会場に、全国から一万人近い高校PTA

… ロンドンより熱かった！ 紀州路の夏 …

A関係の仲間がつい、教育・PTA活動について学び、議論しました。私自身、このよう大きな全国大会に参加するのは初めてでしたが、行く先々で受けた、開催県和歌山の皆さんからの温かい歓迎とお心づかいには、今でも忘れることができません。

開会式では、昨年の東日本大震災・紀伊半島を襲った集中豪雨など大災害により、被災された高校生をはじめ関係者の方に対し熱い心をさげたあと、和歌山県知事・和歌山市長さんからの心からの歓迎のあいさつがありました。表彰式では、前滋賀県PTA連合会会長（本年度本校教育振興会会長）の小西康之さんが特別表彰されましたのでこの場で報告させていただきます。また、地元和歌山の高校生のみならず、息の合ったブラスパンド・和太鼓演奏、勇壮な少林寺の演技には本当に驚かされていました。

小西康之さんに特別表彰（上の写真の前列右）

に贈るといふ偉業を成し遂げた、日本が誇る小惑星探査機「はやぶさ」の七年間にわたる宇宙開発事業の取り組みについて、プロジェクトマネージャーである有名な川口淳一郎先生、音楽と映像で「はやぶさ」の偉業を表現し和歌山大学に宇宙開発研究所を立ち上げられた同大学の尾久土正巳教授のお話を聞くことができました。「はやぶさ」の事業は、まさに我が国の科学技術の粋といえるものです。「はやぶさ」は宇宙での予想外のトラブル、アクシデントを克服し地球に帰って来ました。両先生のお話から学んだことは、どんな困難にでもあきらめずに立ち向かえばいつかは道は開ける。神様は人の知らない努力を必ずどこかで見ていてくれる、ということでした。

また、二日目の田辺市で行われた、分科会では「学校と防災」をテーマにディスカッションがあり、東日本大震災のような大規模災害に直面した時、教育現場の対応はいかにあるか、PTA等学校関係者は生徒の安全をいかに守れるか等、パネリストの方々の貴重なお話を聞

くことができました。

私にとって、この二日間は本当に貴重な体験をさせていただきました。まさに、「ロンドンより熱かった紀州路の旅」でした。

最後に、印象に残った昨年六十一回大会の実行委員長である北海道高校PTA連合会長の言葉を紹介します。

「PTAの活動に対し、役が当たるのを避け、仕方なしにいやいや参加している方も多くいらっしゃいます。しかし見方を変えてみて下さい。PTA活動は子どもの成長を一番近く、時等常、で見ながら、自分自身も成長することができる貴重な場なのです。」



「おやともの会」

11月10日(土)午前10時より、図書館で本年度で第2回となる「おやともの会」が開催されました。参加者24名。6人ずつの小グループに分かれ、ケーキと飲み物を囲んで、和やかに親同士の親睦が深められました。以下、参加者の感想から。

■今まで面識のなかった保護者の方とゆっくり話ができて、とてもいい時間になりました。子どもはいくつになっても子どもであり、心配はつきませんが、親同士がこうやって悩みを共有することで、少し安心しました。

■どんな親も、子育て初心者という面があると思いますから、今回のような日ごろの不安や疑問を語り合える場があると、一人じゃないんだなあとして、明日への元気が出てきますね。





「大切な力」

校長 西嶋 博 純

去る10月18日、全校生徒対象にSSH講演会を開き、JAXA宇宙科学研究所の阪本成一教授より『宇宙への挑戦』というタイトルで講演をしていただきました。宇宙飛行士に何より必要な資質は「思いやり」と「協調性」で、転校生がクラスに来た時、真っ先に話しかけられる人が宇宙飛行士に最もふさわしいというお話は新鮮な驚きでした。

周りに誰一人友だちがいなくて不安な転校生の気持ちを推し量り、すぐに行動できるかどうか。考えてみれば、いくら頭が良くても、相手の気持ちを考え、協力できなければ、国籍の異なる飛行士たちが狭い宇宙船の中でミッションを円滑に行うことなどできません。

もちろん、これら「思いやり」や「協調性」は宇宙飛行士に限らず、あらゆる職業や集団に必要とされることです。困っている人を見たら助けることができる。自分とは異なる個性、考え方を尊重することができる。自分の思いや考えを言葉でしっかり相手に伝えることができる。そして互いに議論し、力を合わせてより良いものを創り出していくことができる。このような豊かな人権感覚、表現力、協働力を生徒たちに育むべく今本校では次のような教育活動を展開しています。

障がい者問題を考える映画『ゆずり葉』の鑑賞後には活発なクラス討論を行ったり、SSH講演会ではしっかりメモを取り、多くの生徒が堂々と講師の先生に質問をしたりしました。生徒たちの積極的な態度に感心し、指導の成果を実感しました。1年生の『究理Ⅰ』では、4人が一つの班となり、互いに協力して課題研究やフィールドワークを行い、自主性を養ってきました。これからも虎高ならではの魅力ある教育活動を行っていききたいと思います。

保護者の皆様には、今後とも本校の教育およびPTA活動に対し、ご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



短期留学で感じたこと

(滋賀県高校生海外相互派遣事業)

今回の留学で一番感じたのは、国によって教育も雰囲気が違うなということです。アメリカの授業はどれも日本と違い、ディベートなどの生徒が主体となって行うものでした。生徒が日本と比べて積極的に意見を言う姿勢がとても印象的です。(国際社会で自国の意見を述べるができるように)日本でもそういった授業が増えてほしいと思いました。(呉竹真帆2年)

10月4日、小林由明先生がお亡くなりになりました。

御年、54歳の早過ぎる御逝去です。心よりご冥福をお祈りいたします。

ここに、先生を偲んで、先生方に思い出を語っていただきました。



先生は、高校・大学ともに、バレーボール部の主将として活躍され、インターハイや大学選手権にも出場されました。教師としても、名監督として、全国大会や近畿大会に数多くの生徒を導かれました。

虎姫高校6年間は、授業では主に女子の体育を担当され、常に暖かく熱心な指導で多くの生徒から慕われておられました。特に体育の苦手な生徒にもわかりやすくて的確な説明・アドバイスをされ、多くの生徒が積極的に取り組むようになりました。保健では、多くの資料・情報を基にきめ細やかな授業をされ、特に「高校生の健康の大切さ」を熱く語っておられました。



「おはようござーっす。トイレが汚いので掃除しました。」今津からの遠距離通勤にもかかわらず7時半には学校に到着し、保健室横のトイレが汚い時は自らブラシを持って朝から掃除をされていました。仲間の先生を「〇〇ちゃん」と呼び、どの先生でも気さくに声をかけ、気取らずに話に誘い込む話術の名人でもありました。生徒に対しては、ある時は優しく気軽に話しかけ、指導すべき時は厳しく諭して、硬軟メリハリのある指導をされていました。生徒の特徴を見抜く眼力も鋭く、さらに生徒から慕われる人間味を兼ね備えた先生でした。(ご本人も「明石家さんまに似た容顔や雰囲気で生徒にからかわれる。」と話されていました。)
「小林やん」今後も虎姫高校をずっと見守って行って下さい。

「すまん。ちょっと行ってくるわ。保健室のこと頼むわな。」が、小林先生との最後の会話でした。いつも朝早くに保健室の鍵を開けて生徒を待って下さっていました。お香もお好きで、朝の保健室には癒しの香りがしていました。体育の授業での出来事をよく話して下さり、「あの子はいいい子や」としゅっちゅう生徒のことを褒めておられたのが印象的でした。先生がおられなくなってから、ある生徒が先生の好きなお香を手作りして持ってきてくれました。また、ある生徒は先生にけがの処置をもらい、その時にもらった予備の絆創膏を今でも持っているんだと教えてくれました。先生から頂いた優しい気持ちは生徒の心に生きています。

PTA 研修旅行



京都大学にて



京都大学

「PTA研修旅行に参加して」

前田 史子

10月15日、朝7時前に虎姫高校に集合した私たち参加者99名は、バス3台に分乗し、京都に向かって出発しました。バスの中では、各学年主任が手作りされたDVDを見せ、文化祭や体育祭、修学旅行などにおける子供たちの姿を詳しく知ることができました。

京都に着くと、まず哲学の道を少し歩き、次に銀閣寺を拝観させていただきました。爽やかな秋晴れのもと、美しい銀沙灘や銀閣の名で知られる観音殿、現存する日本最古の書院造の乗求堂や洗月泉を見てまわりました。華やかさとは対照的な閑静で静かなたたずまいには、「質実剛健」をモットーとする虎高生の気風を思わせるものがあり、心なしか少し誇らしい気持ちになりました。

次に訪れた京都大学では、虎姫高校を卒業された4人の京大生に、吉田キャンパスを案内していただきました。山中教授がノーベル賞をとられたばかりということもあり、京都大学には、日本の可能性が満ち満ちているようでした。自分の息子が京都大学に入学！なんてことはないと思いますが、少しでもあやかりたいとチョコレートやペンなどいろんな京大グッズを買い込みました。

お昼には、ホテルオークラでランチバイキング。コースにすれば、前菜からメイン料理、デザートにいたるまでのお料理を、それぞれ少しずつ種類を変えていくことも楽しむことができました。

午後からは、立命館大学の衣笠キャンパスで、ガイダンスとキャンパスツアーを体験しました。就職課の職員さんのお話によると、立命館大学では「しっかりした高校生らしい高校生を望んでいる」とのことでした。そして、大学に入ってから、学校から離れず、学校行事をしっかりこなし、勉学に励み、自分の進路についてとことん悩んで自分でも決められる学生の育成を目指しているということでした。昨今の企業もそうした人材を望んでいるそうです。立命館生の就職率は94%を超えているとのことでした。キャンパスツアーでは、法学部や産業社会学部、文学部、政策科学部、国際関係学部、映像学部の建物を、外側からではありましたが、立命館の皆さんに案内していただきました。

立命館の見学を終えると、私たちは北野天満宮を訪れ、学問の神様である菅原道真公を参拝しました。

はじめて参加させていただいた研修旅行でしたが、他の保護者の方々と情報交換もでき、とても楽しく充実した時間を過ごすことができた、大変満足しています。



絵馬

北野天満宮



立命館大学



末川記念館



銀閣寺





編集後記

本年度、広報委員長をお引き受けすることになりました。不慣れで、多々ご迷惑をおかけすることもありましたが、広報委員の皆様のお力で、無事PTA通信を出すことができ、ホッとしております。少しでもお子様の生き生きとした様子が皆様に伝わればと工夫しましたが、昨年同様、楽しく読んでいただけたでしょうか？

今年は今まで名前のなかった我が虎高のキャラクター(サンショウウオ)にも、「トラマンダー」というすてきな名前が決まりました。未永く皆様に愛されるキャラクターになればと願っております。

